

基本目標

1 地域活動を支える人づくり

施策の方向1-1 人権尊重の推進

市民が互いに支え合い、心豊かに過ごすことができる地域を築くためには、一人ひとりがかけがえのない存在であることを互いに認め合う人権尊重の精神を育てていくことが基本となります。

そのため、市民が年齢や性別、障がいの有無、国籍など、それぞれの多様性を認め合い、一人ひとりの人権を尊重し、誰もが共に支え合うことができるよう、子どもから大人まで多様なライフステージに応じた人権教育・啓発や交流の促進、あらゆる分野における多文化共生の推進を図ります。

《 湖南省を取り巻く現状 》

- 人権セミナーや地域総合センターでの人権講座、市民大学の障がい理解の出前講座や成年後見センターぱんじーの権利擁護セミナーの開催などの人権学習や、地域総合センターの「じんけんのまつり」や「まちづくりセンターまつり」などの市民同士の交流の場を実施することで、身近にある人権課題に気づくための機会を提供している。
- 地域では「老人福祉センターまつり」や「ボランティアまつり」、「ふれあい広場」など、年齢や性別、障がいの有無、国籍等に関わらず参加し、ともに過ごすことができる多様な交流の機会があります。
- 近年、市内や近隣で働く外国人住民が増加傾向にある。

《 湖南省における課題 》

- 人権意識を高めるための学習や交流の場への参加者の減少・固定化が見られ、誰もが興味・関心を持てるテーマ設定や、参加しやすい実施方法の検討・見直しが必要。
- 介護を必要とする高齢者や障がいのある人が利用する福祉施設と地域の交流・連携など、多様なふれあいの場を確保することが必要。
- 増加している外国人住民との交流やお互いの理解を深めるための場づくり、外国人住民が暮らしやすい地域づくりなど、地域における共生の仕組みが必要。

《 施策の進捗を測る指標 》

| 指標名 | 現状値 (令和2年) | 目標値 (令和7年) |
|---------------------|---------------|---------------|
| 人権セミナー参加者数 | ●人 | ●人 |
| 老人福祉センターまつり参加者数 | ●人 | ●人 |
| 外国人住民が参加するまつり・イベント数 | ●件 | ●件 |

取組項目：①人権教育・啓発の推進 ②多様な交流の促進 ③多文化共生の推進

＜施策・取組＞

■■ 市民・企業に期待すること ■■

- ①人権に関する勉強会や研修などに積極的に参加します。
- ②様々な人が集まる交流の場に積極的に参加します。
- ③外国人住民や従業員との交流により、理解を深めます。

■■ 福祉事業所に期待すること ■■

- ①従業員の人権教育機会への参加を促進します。
- ②福祉事業所を舞台とした交流の場、機会を提供します。
- ③外国人利用者への適切な対応や、従業員として受け入れます。

■■ 社協が取り組むこと ■■

| 項目 | 主な取り組み内容 | 主な事業 |
|----|--|------|
| ① | ○ボランティアや福祉団体向けの人権啓発や研修を実施します。 | ●●事業 |
| ② | ○各種イベントへの参画、ボランティアや福祉団体等の参加促進など交流の活性化を支援します。 | ●●事業 |
| ③ | ○ボランティア活動を実践する仕組みとして、外国人との交流の場を確保します。 | ●●事業 |

■■ 市が取り組むこと ■■

| 項目 | 主な取り組み内容 | 主な事業 |
|----|--|------|
| ① | ○誰もが人権問題を自分事として考えられるような教育・啓発内容、方法を考え、実施します。 | ●●事業 |
| ② | ○各種イベントにおける交流を通じ、一人ひとりの尊厳の大切さに気づくことができる機会の充実に取り組めます。 | ●●事業 |
| ③ | ○外国人住民に届く情報提供、気軽に相談できる体制の整備など、多文化共生の環境づくりを進めます。 | ●●事業 |